

平成23年度の府内河川におけるダイオキシン類環境調査結果について

報道発表資料

大阪府トップ>報道発表資料>詳細

平成23年度における大阪府内のダイオキシン類環境調査結果等について

環境農林水産部 環境管理室環境
保全課 環境計画グループ
代表者 ダイヤルイン番号:06-6210-9577
絡先 メールアドレス:kankyokanri-
r03@ebox.pref.osaka.lg.jp

提供日 2012年6月6日
提供時間 14時0分

大阪府では、ダイオキシン類による環境の汚染状況を経年的に把握・評価し施策に反映するため、大阪府及び大阪市等の各機関が実施したダイオキシン類環境調査及び大阪府内(大阪市等政令市、池田市等権限移譲市町村を除く。)の事業者が実施したダイオキシン類濃度測定の結果をとりまとめましたので、お知らせします。

1 平成23年度におけるダイオキシン類環境調査結果等の概要
ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大阪府及び大阪市等の各機関が平成23年度に実施した、府内のダイオキシン類環境調査結果の概要は以下のとおりです。

(1)平成23年度調査結果

大気、河川水質、海域水質、河川底質、海域底質、地下水質及び土壌についてダイオキシン類の調査を行いました。
大気、海域水質、河川底質、海域底質、地下水質及び土壌では、調査した全ての地点で、環境基準を達成していましたが、河川水質は3地点、住道大橋(寝屋川)、今津橋(寝屋川)、徳栄橋(古川)で、環境基準を超過していました。

調査項目 (単位)	調査 地点数	環境基準 超過地点数	濃度範囲	平均値	環境基準値
大気 (pg-TEQ/m ³)	38	0地点	0.0089 から 0.15	0.036	0.6
河川水質 ※ (pg-TEQ/L)	63	3地点	0.064 から 3.4	0.44	1
海域水質 (pg-TEQ/L)	12	0地点	0.042 から 0.25	0.10	1
河川底質 ※ (pg-TEQ/g)	62	0地点	0.17 から 150	26	150
海域底質 (pg-TEQ/g)	12	0地点	1.1 から 64	19	150
地下水質 (pg-TEQ/L)	21	0地点	0.016 から 0.25	0.070	1
土壌 (pg-TEQ/g)	29	0地点	0.0021 から 28	1.8	1,000

※河川における調査結果は、近畿地方整備局実施分を除く。

(2)環境基準超過に係る対応

この調査で環境基準を超過した河川については、関係機関と連携して、浄化浚渫工事など基準達成に向けた取り組みを行います。

(3)追跡調査

大阪府では、大阪府内の常時監視で環境基準を超過した河川について、その原因の特定や汚染範囲の確定などのために追跡調査を行いました。
詳細は、添付資料「平成23年度における大阪府内のダイオキシン類環境調査結果について」をご覧ください。

今後も、環境基準を超過した河川等について水質及び底質の調査を行い、原因究明や濃度変動の状況把握に努めるとともに、周辺事業所に対して排出基準遵守の監視指導を行います。

2 ダイオキシシン類対策特別措置法第28条に基づく測定結果について
ダイオキシシン類対策特別措置法第28条の規定により、廃棄物焼却炉等を設置する事業者は、年1回以上、排出ガス等のダイオキシシン類による汚染の状況について測定し、その結果を知照に報告すること義務づけられています。
府内(大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、枚方市、茨木市、八尾市、富田林市、河内長野市、和泉市、箕面市、東大阪市、大阪狭山市、阪南市、豊能郡豊能町、豊能郡能勢町、泉北郡忠岡町、南河内郡太子町、南河内郡河南町及び南河内郡千早赤阪村を除く)の事業者から報告のあった平成23年度分の測定結果の概要は以下のとおりです。

(1) 排出ガス

排出ガスの測定結果について報告を義務づけられている施設は、平成24年3月末で廃棄物焼却炉等47施設(33事業場)あり、すべての施設から報告がありました。測定の結果は0.0000019から2.6ng-TEQ/m³でした。すべての施設について、排出基準に適合していました。

(2) ばいじん、燃え殻

廃棄物焼却炉の燃え殻及びばいじんについて、測定結果の報告義務がある施設(燃え殻36施設(25事業場)、ばいじん40施設(28事業場))から、測定結果の報告がありました。測定の結果は0から36ng-TEQ/gでした。燃え殻では、すべての施設で処理基準値を下回っていました。ばいじんでは8施設(5事業場)で処理基準値を上回りましたが、いずれもセメント固化工等の処理をした上で埋立処分を行う等適法な処理が行われました。

(3) 排水

排水水の測定結果について報告を義務づけられている事業場は、平成24年3月末で下水終末処理場等8事業場あり、すべての事業場から報告がありました。測定の結果は0.00062から0.49pg-TEQ/Lでした。すべての事業場について、排出基準に適合していました。

3 その他

ダイオキシシン類の用語の解説及び詳細については、添付資料をご覧ください。
なお、本日、大阪市から大阪市内のダイオキシシン類環境調査結果が公表されていますのでこちらもご参照下さい。

4 問合せ先

<環境調査に関すること>

環境管理室環境保全課環境監視グループ

電話番号06-6972-7632

<環境保全対策に関すること>

環境管理室環境保全課環境計画グループ

電話番号06-6210-9577

<事業者による測定結果に関すること>

環境管理室事業所指導課大気指導グループ

電話番号06-6210-9581

大阪市内のダイオキシシン類環境調査結果等について(大阪市報道提供資料)

関連ホームページ

添付資料

平成23年度における大阪府内のダイオキシシン類環境調査結果等 (Pdfファイル、1149KB)

平成23年度における事業者によるダイオキシシン類濃度測定結果の概要 (Pdfファイル、155KB)

平成23年度における事業者によるダイオキシシン類濃度測定結果の概要 (Wordファイル、104KB)

ダイオキシシン類対策特別措置法に基づく事業者の測定結果一覧表 (Pdfファイル、148KB)

ダイオキシシン類対策特別措置法に基づく事業者の測定結果一覧表 (Excelファイル、81KB)

資料提供ID

10942

1 常時監視調査結果

平成 23 年度のダイオキシン類常時監視結果 (P1-7 表 1) 及び常時監視を開始した平成 12 年度からの調査結果 (表 2) の推移は次のとおりである。調査主体は、表 3～7 のとおり (用語の解説は、P1-23 を参照)。

(1) 大気 [環境基準 年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³以下] [図 1、図 8、表 3]

平成 23 年度の大気中のダイオキシン類調査は 38 地点で年 4 回実施した。年間平均値のみならず、濃度範囲は 0.0089～0.15 pg-TEQ/m³、平均値は 0.036 pg-TEQ/m³であり、各地点とも環境基準を達成していた。

また、ダイオキシン類濃度 (DXN 濃度) の平均値の経年変化をみると、平成 23 年度は平成 12 年度に比較して約 12%に低下し、府内における大気中の濃度は改善している。

なお、平成 12 年度から平成 14 年度の間では、一部の地域で環境基準を達成していなかったが、平成 15 年度以降は、全ての地点で環境基準を達成している。

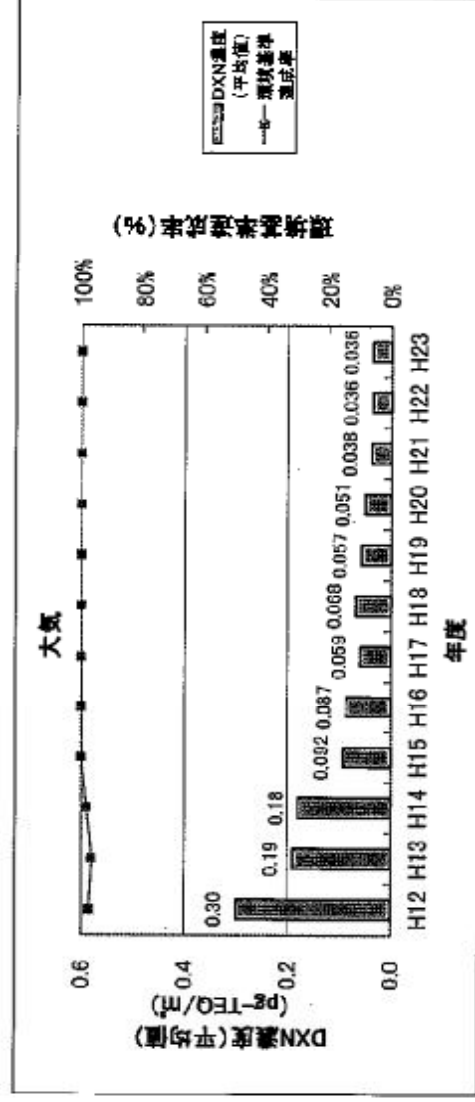


図 1 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (大気)

(2) 公共用水域水質 [環境基準 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下]

ア 河川水質 [図 2、図 9、表 4]

平成 23 年度の河川水質の調査は 63 地点で実施した (調査回数は表 4 参照)。年間平均値で見ると、濃度範囲は 0.064～3.4 pg-TEQ/L、平均値は 0.44 pg-TEQ/L であった。60 地点で環境基準を達成 (達成率 95.2%) しており、徳屋川「住道大橋」、「今津橋」、古川「徳栄橋」の 3 地点で環境基準を超過していた (近畿地方整備局実施分は未公表のため除く。図 2、図 9、表 4 についても同じ)。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度から平成 23 年度の間で、ほぼ横ばいとなっている。

なお、環境基準達成率は、平成 12 年度から平成 23 年度の間で、87.5%～95.5%の範囲であった (ただし、平成 22 年度までは近畿地方整備局実施分を含む)。

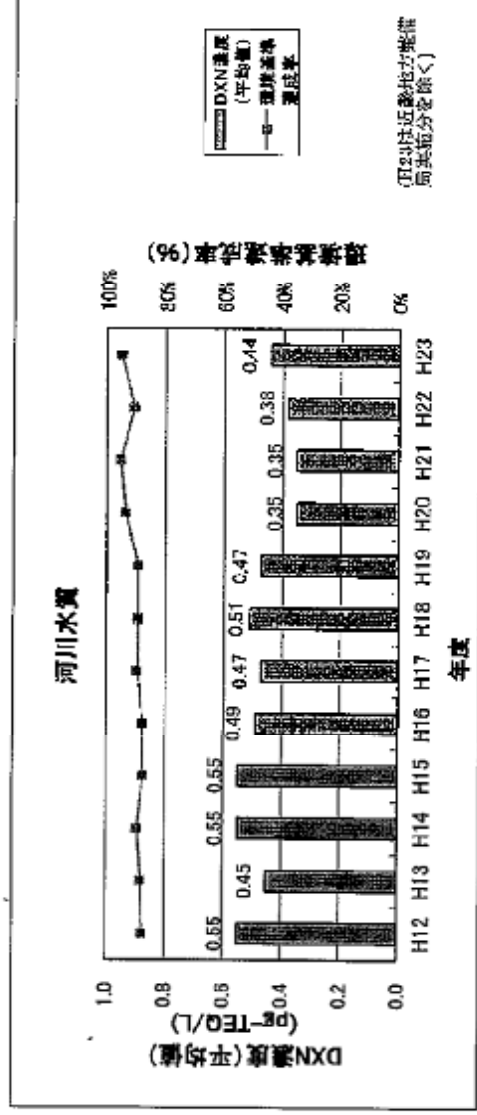


図2 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (河川水質)

イ 海域水質 [図3、図9、表5]

平成23年度の海域水質の調査は12地点で実施した(調査回数は表5参照)。年間平均値で見ると、濃度範囲は0.042~0.25 pg-TEQ/L、平均値は0.10 pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成していた。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度から平成23年度の間で、ほぼ横ばいとなっている。

なお、平成12年度調査から全ての地点で環境基準を達成している。

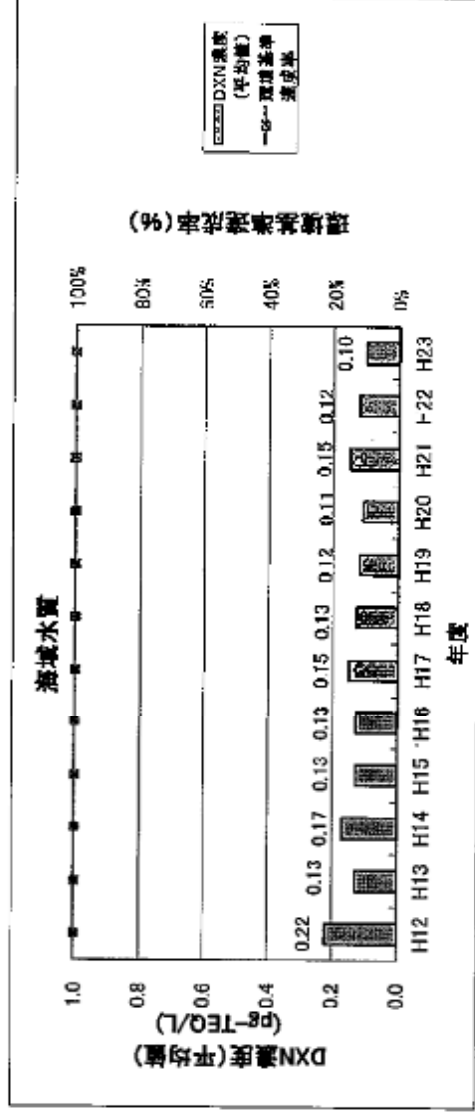


図3 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (海域水質)

(3) 公共用水域底質 [環境基準 150 pg-TEQ/g 以下]

ア 河川底質 [図4、図9、表4]

平成23年度の河川底質の調査は62地点で年1回実施した。濃度範囲は0.17~150 pg-TEQ/g、平均値は26 pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成していた(近畿地方整備局実施分は未公表のため除く。図4、図9、表4についても同じ)。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度から平成23年度

の間で、ほぼ横ばいとなっている。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、平成14年度以降の環境基準達成率は、83.5%~100%の範囲であり、平成23年度に初めて、全ての地点で環境基準を達成した。(ただし、平成22年度までは近畿地方整備局非実施分を含む。)

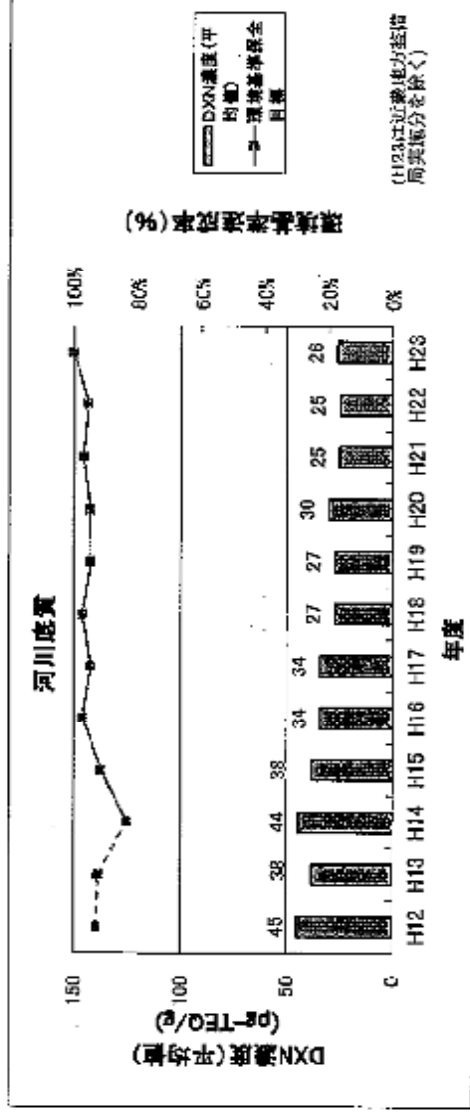


図4 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (河川底質)

イ 海域底質 [図5、図9、表5]

平成23年度の海域底質の調査は12地点で年1回実施した。濃度範囲は1.1~64 pg-TEQ/g、平均値は19 pg-TEQ/gであり、全ての地点で環境基準を達成していた。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度から平成23年度の間で、ほぼ横ばいとなっている。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、平成16年度以降、全ての地点で環境基準を達成している。

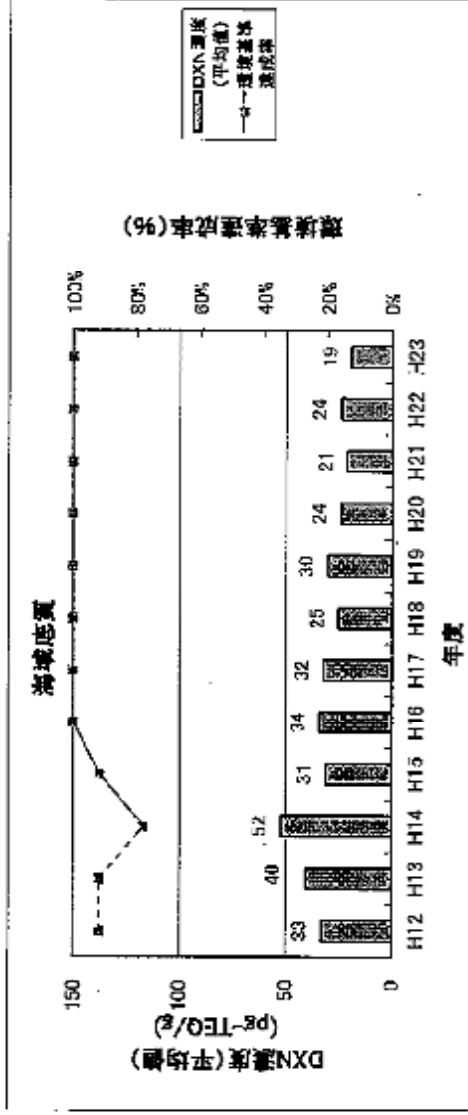


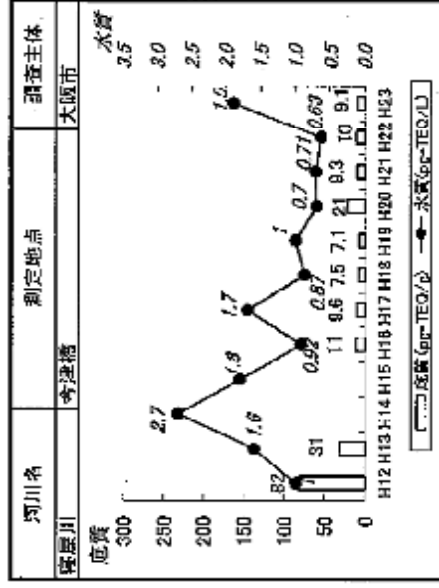
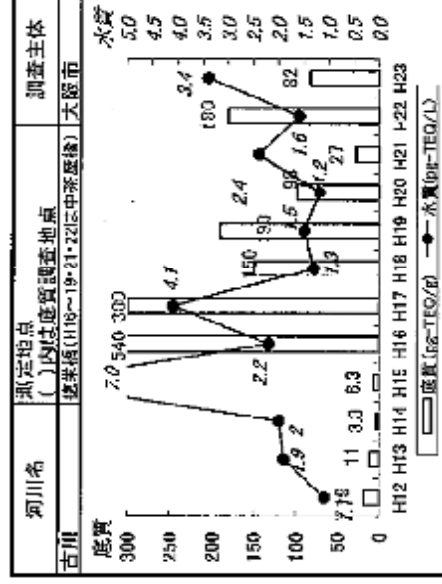
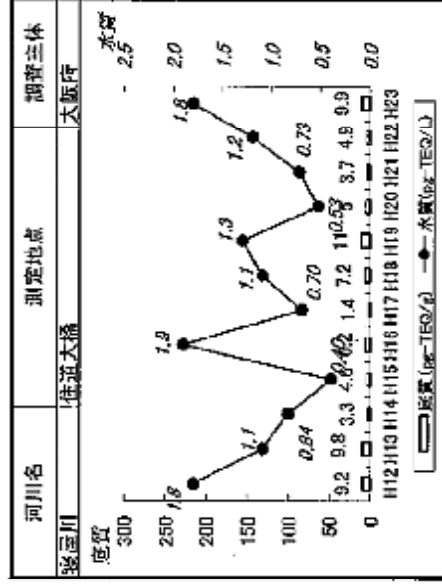
図5 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (海域底質)

表 4 平成 23 年度ダイオキシン類常時監視結果 (河川水質・底質)
(環境基準：水質 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150 pg-TEQ/g 以下)

調査主体	水取名	河川名	調査地点名	水質調査回数 (回/年)	水質調査値 (pg-TEQ/L)		調査対象 回数 (回/年)	調査 地点 番号			
					水質調査値 (pg-TEQ/L)	年平均値					
大阪府	淀川	船場川	新巻橋上流	2	0.16	0.10	1	0.46	1		
		野田川	淀川合流直前	2	0.20	0.17	1	0.26	2		
	竹崎川	天野川	淀川合流直前	2	0.20	0.11	1	0.39	3		
		柳崎川	新三河湾	2	1.0	0.82	1	66	4		
	安威川	左門坂川	原口橋	2	0.14	0.16	1	84	5		
		安威川	倉島橋	2	0.33	0.091	1	0.70	6		
	堺市	安威川	新巻坂橋	2	0.29	0.20	1	2.2	7		
			安威川合流直前	2	0.075	0.035	1	0.32	8		
		大正川	安威川合流直前	2	0.27	0.22	1	0.95	9		
		勝区勢川	安威川合流直前	2	0.098	0.043	1	0.60	10		
泉野川		森毛川合流直前	2	0.10	0.074	1	0.67	11			
堺区川		千早川	森毛川合流直前	2	0.15	0.12	1	0.33	12		
		藤原川	藤原川合流直前	2	0.12	0.51	1	0.61	13		
八尾市		藤原川	藤原川	佐道大橋	2	1.3	2.2	1	9.9	14	
			藤原川	福築橋下流100m	2	1.3	0.74	1	2.4	15	
		大和川	藤原川	住道新橋	2	0.57	0.92	1	19	16	
	JAグループ大原前		2	1.1	0.56	1	0.63	17			
	泉野川	新巻多摩	2	0.14	0.039	1	0.000	1	0.17	18	
		明石小橋	2	0.44	0.45	1	0.22	19			
	藤原川	森毛川合流直前	2	0.22	0.064	1	0.14	1	0.51	20	
		大津川橋	2	0.20	0.20	1	0.20	21			
	藤原川	藤木橋	2	0.68	0.30	1	0.49	1	0.20	22	
		昭代橋	2	0.49	0.70	1	0.60	1	27	23	
藤原川	近木川橋	2	0.31	0.14	1	0.23	1	0.47	24		
	早田川	2	0.79	0.35	1	0.57	1	1.2	25		
藤原川	藤原川	藤原川	2	0.71	0.20	1	0.61	1	0.69	26	
	櫻井川	2	0.55	0.18	1	0.37	1	6.4	27		
藤原川	原田川	2	0.22	0.13	1	0.16	1	1.6	28		
	藤原川	2	0.066	0.044	1	0.065	1	1.3	29		
藤原川	一軒橋	2	0.12	0.056	1	0.088	1	1.2	30		
	長行割道	2	0.52	0.12	1	0.32	1	2.3	31		
八尾市	藤原川	新橋川	大杉原江口橋	5	0.14~2.1	0.62	1	1.4	32		
		千船橋	2	0.63	0.13	1	0.38	1	160	33	
大阪府	大和川	藤原川	千船橋	2	0.26	0.26	1	50	34		
		藤原川	天沖橋(右)	2	0.26	1.3	1	0.78	1	4.7	35
藤原川	土佐堀川	安津橋(左)	2	0.28	0.99	1	0.64	1	1.5	36	
	大津川	木町橋	3	0.35~1.2	0.88	1	3.9	37			
藤原川	大津川	大津橋(深里橋)※	4	0.54~1.2	0.90	1	130	38			
	藤原川	春日巴橋	1	0.29	0.20	1	61	39			
藤原川	正徳寺川	北池大橋下流100m	1	0.12	0.12	1	0.5	40			
	安威川	天降山渡	1	0.14	0.14	1	39	41			
藤原川	藤原川	藤原川渡	1	0.17	0.17	1	87	42			
	藤原川	千早橋渡	1	0.21	0.21	1	110	43			
藤原川	本郷川	船町渡	2	0.14	0.090	1	0.12	1	150	44	
	住吉川	住吉川大橋下流1100m	1	0.14	0.14	1	0.14	1	120	45	
藤原川	平野川	結尾橋	2	0.28	0.81	1	0.65	1	82	46	
	平野川	南井安橋	2	0.41	0.83	1	0.62	1	83	47	
藤原川	平野川	天王山木橋(中津橋)※	1	0.15	0.15	1	29	48			
	藤原川	徳津橋(中津橋)※	5	0.54~1.1	0.54	1	3.4	1	82	49	
藤原川	藤原川	今津橋	5	0.77~3.5	0.77	1	1.9	1	9.1	50	
	藤原川	安威川	3	0.47~1.7	0.80	1	0.94	1	15	51	
堺市	大和川	藤原川	下流直渡	2	0.24	0.39	1	0.32	1	15	52
		大和川合流直前	1	0.28	0.28	1	0.28	1	0.77	53	
堺市	大和川	藤原川	大和川合流直前	1	0.17	0.17	1	0.17	1	0.25	54
		藤原川	藤原川	1	0.13	0.13	1	0.13	1	82	55
高槻市	淀川	石津川	石津川橋	1	0.17	0.17	1	3.7	56		
		和泉川	小野々井橋	1	0.29	0.29	1	0.73	57		
高槻市	淀川	藤原川	藤原川神社	2	0.10	0.026	1	0.064	1	0.51	58
		藤原川	玉川橋	2	0.33	0.13	1	0.23	1	1.8	59
東大阪市	藤原川	東部清水	新今徳新橋	2	0.46	0.17	1	0.32	1	9.7	60
		藤原川	新今徳新橋	2	0.31	0.10	1	0.21	1	2.8	61
東大阪市	藤原川	藤原川	三池橋	2	0.38	0.87	1	0.63	1	11	62
		藤原川	新新田橋	2	0.52	0.13	1	0.33	1	—	63
								平均値	0.44	26	

※()内は、底質を採取した地点を示している。
※※劣化地点で採取できなかったため、空白(深里橋)で水質及び底質を採取した。
※は環境基準超過

◆平成23年度に水質標準基準を超過した地点における調査結果の推移



◆これまでの底質環境基準超過地点における測定結果の推移

表 底質環境基準超過地点測定結果の推移【平成12～23年度】

水域名	河川名	測定地点	底質濃度 (mg-TFQ/g)												
			0-1	0-2	0-3	0-4	0-5	0-6	0-7	0-8	0-9	0-10	0-11	0-12	
神崎川 水城	神崎川	新三国橋	510	150	180	370	86	41	300	160	80	120	85	66	
		千粒橋	180	320	370	160	100	510	61	110	280	93	45	150	
		左門殿川	260	53	200	240	140	81	50	55	500	160	93	84	
宝屋川 水城	宝屋川	住道新橋	20	99	160	120	95	88	60	57	42	42	52	19	
		徳栄橋	19	11	3.8	6.3					98				
		中茶屋橋	30	140	160	110	100	110	97	100	87	66	91	82	
河川	道頓堀川 [※]	成見橋	20	210	300	170	150	120	120	14	96	110			
		大黒橋	40	170	190	130	130	110	72	66	61	61	55	55	
		深里橋	160	240	190		66	64		320	180	180	79	80	61
		北池大橋下約200m	450	320	220	240	150	120	130	140	210	160	120	110	
		春日出橋	30	150	280	180	220	190	120	130	230	150	180	150	
		六軒家橋	30	200	170	140	140	130	140	250	40	64	78	120	
大阪市 内河川	木津川	千本松渡	52	71	160										
		船町渡													
		住吉川													
海城	大黒蔵(1)	東横堀川 [※]													
		本町橋													
調査基準超過地点数			*6	*7	14	71	2	4	21	41	41	21	3	0	

* 底質の環境基準は平成17年9月から適用

※1 古川

- ・基本となる調査地点は徳栄橋。
- ・F16・17年度、徳栄橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、中茶屋橋で採泥。
- ・中茶屋橋で基準値超過の泥が見つかったことから、調査地点を徳栄橋から中茶屋橋へ変更。
- ・F20年度、中茶屋橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、徳栄橋で採泥。

※2 道頓堀川

- ・基本となる調査地点は大黒蔵。
- ・F22年度以降、大黒蔵の築替工事のため、深里橋で採泥。

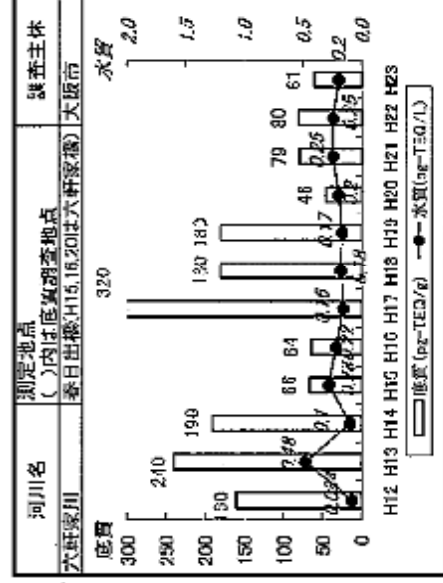
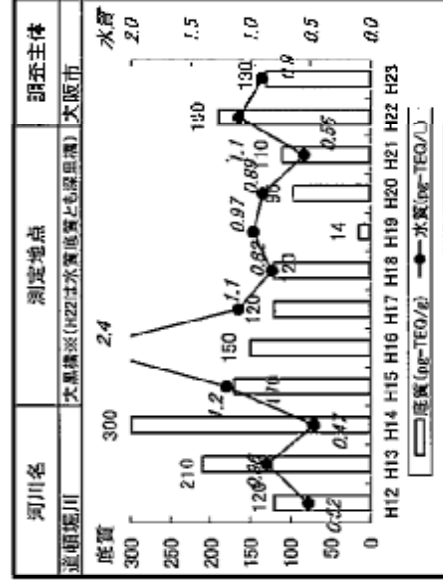
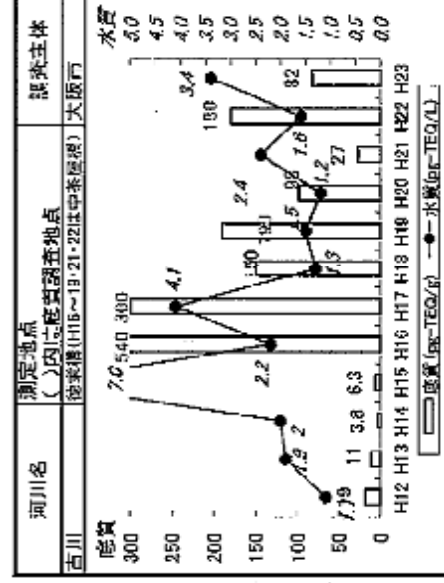
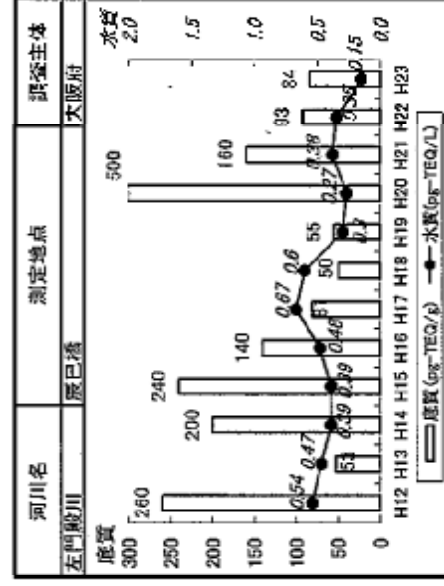
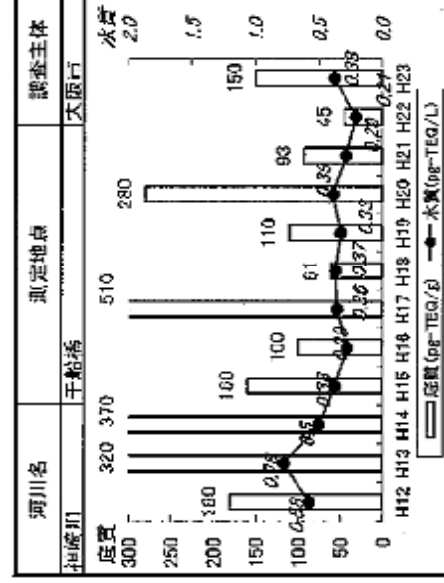
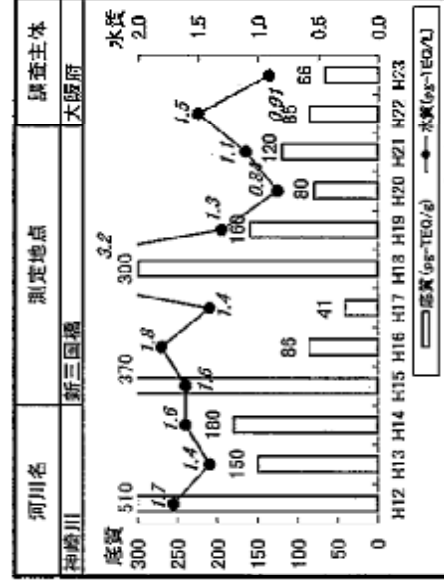
※3 六軒家川

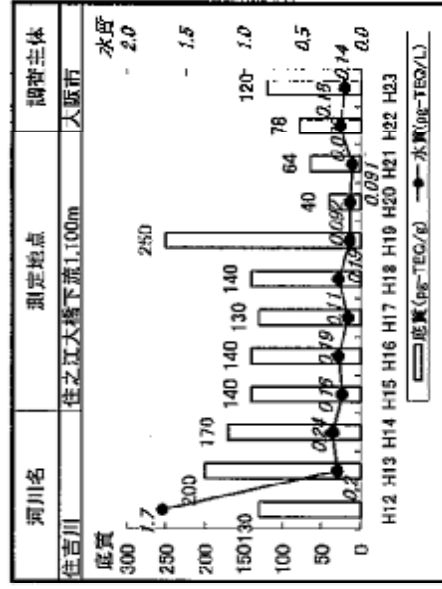
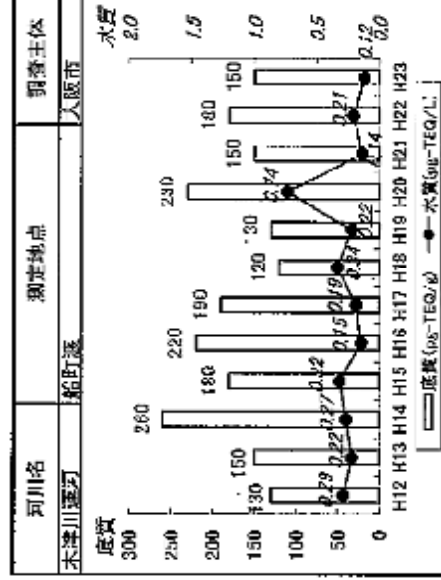
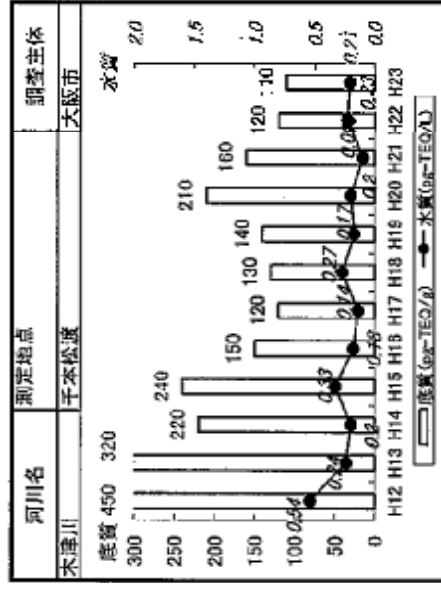
- ・基本となる調査地点は春日出橋。
- ・F15・16・20年度、春日出橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、大黒蔵で採泥。

※4 本横堀川

- ・基本となる調査地点は本町橋。
- ・F12～14年度、本町橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、平野橋で採泥。

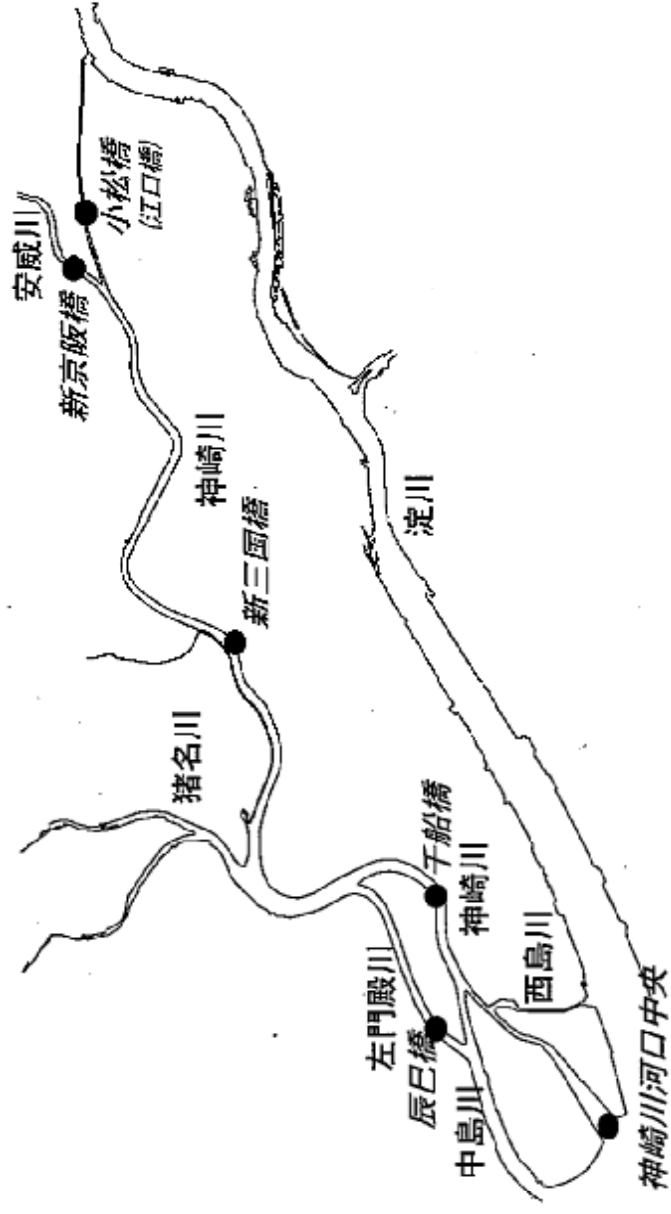
◆ここ5年(H19～H23)で底質環境基準を超過した地点における調査結果の推移





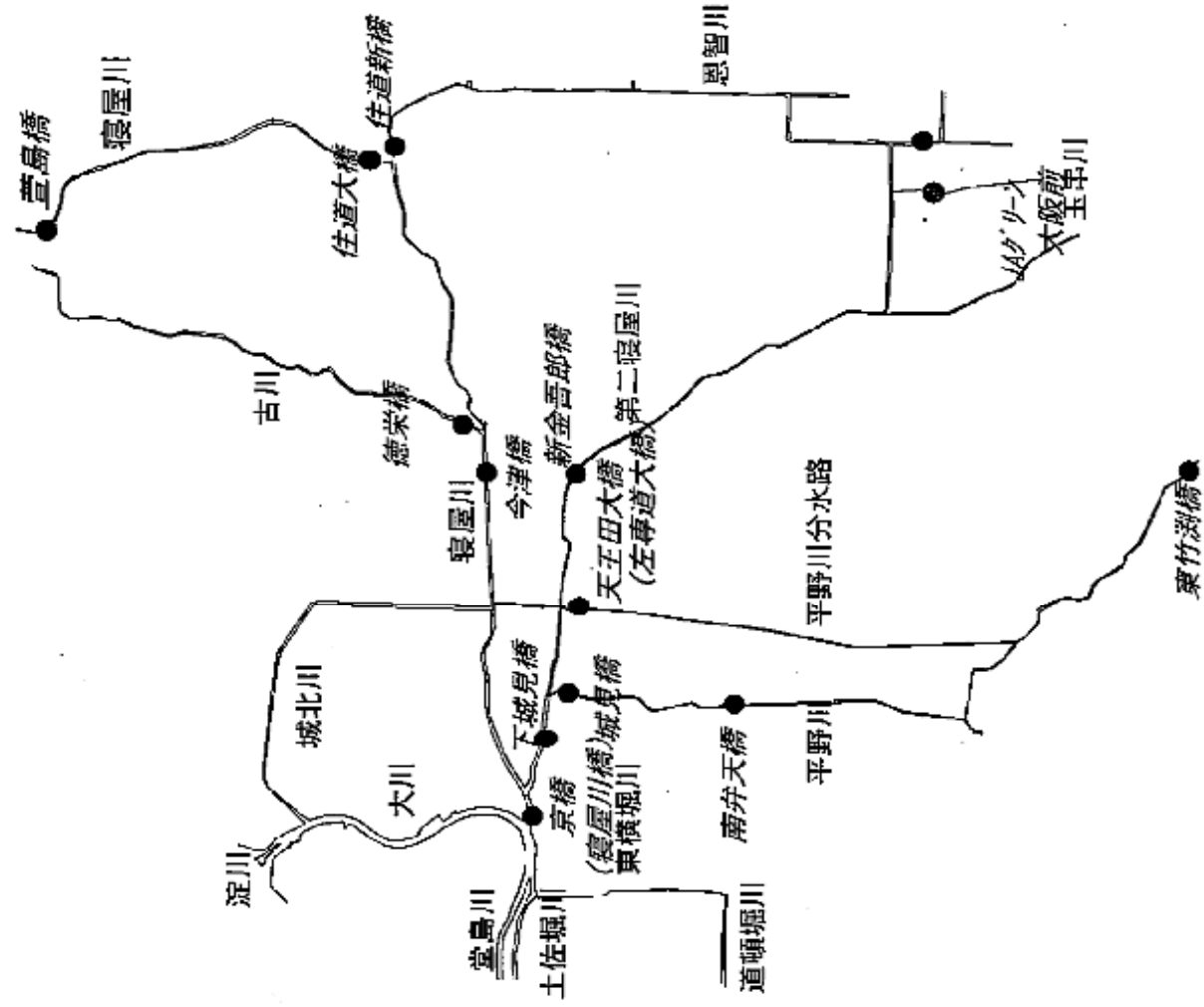
調査地点位置図

○神崎川(上流ブロック・下流ブロック)



調査地点位置図

○寝屋川ブロック



調査地点位置図

○大阪市内河川ブロック

